

(公財) 広島県老人クラブ連合会

令和元年度事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

概況	1
I 高齢者の健康づくり・介護予防活動に資する事業	2
1 理事長杯グラウンド・ゴルフ大会の開催	
2 広島県老人クラブゲートボール大会の開催	
3 全国健康福祉祭(ねんりんピック)への参加支援	
4 全老連「健康づくり中央セミナー」への派遣	
5 みずほ教育福祉財団助成事業の実施	
II 高齢者の社会活動を推進する事業	4
1 地域指導者講習会の開催	
2 在宅福祉を支える友愛活動の展開	
3 地域奉仕活動推進事業の推進	
4 平成30年7月豪雨災害救援拠金の配分	
5 花一輪募金活動の推進	
III 地域社会と連携・協働活動を推進する事業	7
1 広島県老人クラブ大会の開催	
2 広報誌「ひろしま県老連」の発行	
3 関係機関・関係団体との連携・協働事業の推進	
IV 生活を豊かにする楽しい活動と地域を豊かにする社会活動を推進し、地域と福祉を支える老人クラブをめざす事業	12
1 市町老連との協働活動の推進	
2 県老連各種委員会及び研修会の開催	
3 全老連が主催する会議・研修会への参加	
4 全老連会長表彰の受賞	
5 全老連「活動賞」の受賞	
6 広島県知事賞の受賞	
7 ニッセイ財団生き生きシニア活動顕彰の受賞	
8 ホームページ活用による啓発広報	
9 老人クラブの花を咲かそう運動の展開	
10 特殊詐欺被害防止啓発ビデオの作成	
V 老人クラブの組織強化を図る事業	16
1 老人クラブ普及事業	
2 100万人会員増強運動特別報奨金事業の実施	
3 会員の安全対策と連帯意識の高揚を図る事業	
4 表彰事業	
5 県老連専用スマートフォンの整備	
VI 法人の管理運営	18
1 役員会等の開催	
2 役員の改選	
3 老人クラブ活動推進員の設置	
4 要望活動	
5 資料作成配布	

§ 1 事業報告

公益財団法人広島県老人クラブ連合会事業報告

令和元年度(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

概 況

- 1 令和元年度については、5月に平成から令和へと年号が変わり、社会全体が新たな時代の始まりに期待をもって始まった。県老連においても、従前の事業に加えて、平成30年度で終了した100万人会員増強運動の結果を踏まえて、新たな活動活性化の取り組みなども掲げて、新たな年度をスタートした。

しかしながら、年度末に近づくにつれ、新型コロナウイルスの感染拡大により、国内においても感染防止の観点から様々なイベントや会議の中止が相次ぎ、県老連においても、令和2年度事業計画及び予算等を審議する第23回理事会の開催を中止し、書面決議とするなど大きな影響を受けた。
- 2 令和元年度に新たに取り組んだ事業等の概要は次のとおり。
 - (1) 100万人会員増強運動の総括と今後の活動活性化方策を検討するために創設した「老人クラブ活動活性化推進委員会」は、12名の委員を選任して2回開催し、現状認識など情報の共有化等を図った。引き続き、令和2年度に向けて継続していくこととしている。
 - (2) 「平成30年7月豪雨災害」救援拠金を契機に、通年募金として創設した「花一輪募金」については、多くの市町老連の協力を得て順調にスタートした。令和2年度以降も協力を求めていくとともに、一定の資金蓄積後の活用について検討していく。
 - (3) 老人クラブの愛称を花の名前とし、その意義を改めて見直しつつ、会員の活動意欲を喚起するために開始した「老人クラブの花を咲かそう運動」については、まだ取り組みが不十分な状況にあり、県老連自身の愛称についても公募等に着手できていない。
 - (4) 県老連女性委員会により、同委員会企画、制作及びメンバー出演による特殊詐欺被害防止啓発のための寸劇ビデオを作成し、広島県老人クラブ大会において上映すると共に、研修会等で活用するため、DVDで各市町に配布した。
 - (5) 高知県で開催された「令和元年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会」及び埼玉県で開催された「第48回全国老人クラブ大会」に、当県老人クラブ関係者が多数参加するとともに、中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会では、竹原市の活動事例を発表した。
 - (6) 県老連の厳しい財政状況等を踏まえ、老人クラブリーダーブロック別研修会及びブロック別グラウンド・ゴルフ大会については、令和元年度も休止した。
- 3 平成26年度から取り組んだ「老人クラブ100万人会員増強運動」については、平成30年度で終了したが、クラブ数、会員数の減少傾向に歯止めがかからない状況が続いており、運動の総括を踏まえ、今後の会員増強の方策や老人クラブ活動の活性化、市町老連の機能などが課題となっている。

《公益目的事業》

I 高齢者の健康づくり・介護予防活動に資する事業(公1)

健康寿命の延伸と介護予防活動の推進に向けて、高齢者スポーツの普及・振興を図るため、老人クラブ会員等高齢者が参加できるスポーツ大会を開催するとともに、健康づくりリーダーの養成を図った。

1 第4回理事長杯グラウンド・ゴルフ大会の開催

ふれあいと活力ある明るい長寿社会づくりを推進するため、各市町老連の代表 24 チーム、190 人が参加した。親睦と交流を図りながら、健康づくりを推進することができた。

期 日	令和元年 10 月 23 日 (水)	9:00~13:00
会 場	三原市北方グラウンド・ゴルフ場 (三原市本郷町大字上北方)	
参加人員	22 市町 24 チーム及び役員等 190 人	
成 績	優 勝 金江 (福山市) 準優勝 府中町老連Aチーム (府中町) 第3位 世羅町老連 (世羅町) ベストスコア賞 大浦 政徳 (福山市 金江) 最高長寿選手賞 大倉 福雄 (安芸太田町) 光保 律子 (竹原市)	

2 第38回広島県老人クラブゲートボール大会の開催

ふれあいと活力ある明るい長寿社会づくりを推進するため、市町老連から選抜された 20 チーム、170 人が参加した。親睦と交流を図りながら、健康づくりを推進することができた。

期 日	令和元年 10 月 31 日 (木)	9:00~15:30
会 場	広島市比治山下公園 (広島市南区比治山本町 8-1)	
参加人員	14 市町 20 チーム及び役員等 170 人	
成 績	優 勝 因島鴻 (尾道市) 準優勝 オレンジ (東広島市) 第3位 坂町 (坂町) 第4位 KURE (呉市) 最高長寿選手賞 栗栖 定 (山県郡安芸太田町) 栗栖 キクエ (山県郡安芸太田町)	

3 全国健康福祉祭ねりんピックへの参加支援

平成 30 年度「第 37 回広島県老人クラブゲートボール大会」の優勝チームが、第 32 回全国健康福祉祭わかやま大会 (ゲートボール交流大会) に参加し、その経費について支援した。なお、準優勝チームについては、チーム事情により棄権した。

参加チーム 大野クラブ (廿日市市)

4 全老連「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」へ派遣

健康づくり・介護予防活動の推進を図るため、令和元年12月12日～13日、全社協灘尾ホール（東京都）で開催された「令和元年度高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」に、市町老連から推薦を受けて、2名（三原市、安芸高田市）を派遣した。

5 みずほ教育福祉財団助成事業の実施

全老連を通じて募集があった「2019年度みずほ教育福祉財団助成事業『地域支え合い応援事業』」に、県老連から推薦した安芸高田市老連の取組みが採択された。安芸高田市老連は、財団から助成金（20万円）を受けて、未実施地区へのサロン活動の普及などによる健康づくりや介護予防の事業を実施した。

II 高齢者の社会活動を推進する事業（公2）

心豊かな地域社会づくりに向けて、老人クラブ等高齢者の社会活動指導者に対する講習会を通じて、高齢者の相互支援や社会奉仕等の社会活動の推進を図った。

1 地域指導者講習会の開催

老人クラブ役員等高齢者の社会活動指導者に対して、地域の実情に応じた研修テーマ等により、市町老連との共催により、16市町において講習会を開催するとともに、経費の一部を負担した。参加者総数は、16会場で1,597人となった。

2 在宅福祉を支える友愛活動の展開

(1) 高齢者相互支援推進事業

竹原市、府中市、大竹市、世羅町の4市町老連をモデル市町とし、老人クラブ会員が地域の一人暮らし高齢者や寝たきり高齢者、高齢者世帯等の家庭を訪問し、話し相手を基本に日常生活支援や家事援助等の活動を実践した。

また、高齢者相互支援推進シルバーリーダー研修会を開催し、地域の高齢者に対し、高齢者相互支援についての啓発普及を行なった。

モデル市町老連における高齢者相互支援推進シルバーリーダー研修会の参加者は130人、活動チームは63チーム、活動参加者は195人となった。活動チームによる延べ訪問世帯数は668世帯、訪問回数は3,697回となった。

ア 高齢者相互支援推進会議

区分	第1回	第2回
開催月日	令和元年6月25日	令和2年3月26日
開催場所	県社会福祉会館	県社会福祉会館
出席者	9人	7人
内容	令和元年度高齢者相互支援事業について	令和元年度高齢者相互支援事業の実施結果について

イ シルバーリーダー研修会の開催

老連名	開催月日	開催場所	参加人員
竹原市	R1.11.12	大広苑	30
府中市	R1.8.28	府中市保健福祉総合センター	25
大竹市	R1.9.20	大竹市総合福祉センター	19
世羅町	R1.11.7	世羅町大田自治センター	56
計			130

ウ 高齢者相互支援活動の実施状況

モデル市町老連	竹原市	府中市	大竹市	世羅町	計	
参加クラブ数	5	10	7	18	40	
活動チーム数	15	23	7	18	63	
実施した会員数(人)	34	51	54	56	195	
訪問世帯数	121	194	80	273	668	
延訪問日数(日)	382	368	226	197	1,173	
延訪問者数(訪問先)(人)	460	525	300	566	1,851	
活動 内容 (回)	外出援助	38	54	203	0	295
	家事援助	18	45	21	23	107
	日常生活援助	63	17	24	0	104
	話し相手	541	566	30	192	1,329
	安否確認	15	44	387	0	446
	その他	60	307	69	980	1,416
	延活動回数	735	1,033	734	1,195	3,697

エ 全老連「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」への参加（再掲）

友愛活動の推進を図るため、令和元年12月12日～12月13日に全国社会福祉協議会（東京都）で開催される「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」へ、市町老連から推薦を受けて、2名（三原市、安芸高田市）を派遣した。

(2) 友愛活動の推進

平成30年度の高齢者相互支援推進事業におけるモデル市町老連の取組み等を「平成30年度高齢者相互支援推進事業事例集」として取りまとめ、各市町老連へ配布することなどにより、老人クラブ会員による「在宅福祉を支える友愛活動～くらしを支える 笑顔の訪問～」の推進を呼びかけた。

・集いの場をつくろう！・暮らしの支え合いを広げよう！・役立つ情報を届けよう！

3 地域奉仕活動推進事業

老人クラブではこれまで、高齢者自らが健康保持・増進をすすめ、高齢社会・地域社会を支える担い手として、自主的・組織的に、健康・友愛・奉仕の全国三大運動等の推進に取り組んでおり、令和元年度も継続して推進した。

(1) 健康づくり活動

～のばそう！健康寿命 担おう！地域づくりを～（再掲）

(2) 在宅福祉を支える友愛活動

～くらしを支える 笑顔の訪問～（再掲）

(3) 全国一斉「社会奉仕の日」の推進 ～きれいな地球を子どもたちへ～

老人週間を契機に設定された全国一斉「社会奉仕の日」(9月20日)に、各地域の老人クラブにおいて、公共施設、道路、公園、河川、海浜、神社、仏閣の除草や清掃、資源回収、花壇の管理、山林歩道の整備など様々な奉仕活動が行われた。

12市町老連から活動状況について報告があり、参加者総数は756クラブ、18,562人となった。

4 平成30年7月豪雨災害救援拠金の配分

平成30年2月に、市町老連を通じて県内の被災会員等へ配分した令和元年7月豪雨災害救援拠金について、市町老連から配分結果の報告を受けた。

平成30年7月豪雨災害救援拠金配分状況(令和2年3月31日現在)

救援拠金配分内訳	配分額(円)
被災会員弔慰金、見舞金等	38,161,248
被災クラブ備品等	383,844
市町地区老連防災用品等	387,910
他団体寄託等	1,539,414
その他防災事業等	11,340
振込手数料等事務経費	439,946
未配分及び市町老連留保額	62,000
救援拠金合計額	40,975,702

5 花一輪募金活動の推進

全国で多発する災害等に備えて、通年募金として創設した「花一輪募金」については、県老連から各市町へ募金箱を配布し、会議やイベント時での協力を求めた。

この結果、平成30年7月豪雨災害救援拠金の県老連留保分1,046,000円の繰り入れを含め、令和2年3月末現在で、合計1,929,860円の募金が寄せられた。

Ⅲ 地域社会と連携・協働活動を推進する事業（公3）

高齢者の社会参加を促進するため広報活動等を通じ、また関係機関・地域社会と連携して協働活動を推進した。

1 広島県老人クラブ大会の開催

老人クラブ活動に対する意識の高揚と、関係者の多年にわたる功績を称えとともに、老人クラブのさらなる発展と高齢者福祉の向上を期するため、この大会を次のとおり開催した。

(1) 開催日等

- ・期 日 令和元年10月10日（木） 13時30分～15時30分
- ・会 場 広島県医師会館（広島市東区二葉の里）
- ・参加人員 約200人

(2) 表彰区分及び表彰者数

市町老人クラブ連合会会長の部	1名
地区老人クラブ連合会会長の部	8名
単位老人クラブ会長の部	39名
特別表彰	19名
全国老人クラブ連合会活動賞表彰（伝達表彰）	1団体

(3) 講演 「フレイルの予防 最後の10年を最高の10年にしよう

—NNK（ネンネンコロリ）からPPK（ピンピンコロリ）へ—

講師 広島大学名誉教授・医学博士 村上 恒二 様

(4) 特殊詐欺被害防止啓発ビデオ（女性委員会企画・制作・出演）の発表

「架空請求、広子さん危機一髪!」、「オレオレ詐欺、島子さんギリギリセーフ!」

(5) 大会宣言

大会宣言

本年8月に九州北西部を襲った豪雨災害は、昨年、県内に甚大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨災害」を想起させ、私たちに改めて、記憶の継承と日常の備えの大切さを思い起こさせました。

また、昨年の災害に際して、広島県内はもとより全国の仲間から寄せられた多額の救援拠金は、各地の被災会員の大きな励ましとなると同時に、私たちに深い感謝の念と共に、老人クラブの存在とその意義を強く感じさせました。

戦後の荒廃した時代に、「老後の幸せは自らの手で開こう」との先覚者の呼びかけから生まれた老人クラブは、多くの先人たちの熱意と努力によって発展を遂げ、今の私たちが享受する年金、医療、介護保険など高齢者を取り巻く福祉制度の充実に大いに貢献してきました。

昭和から平成へ、そして令和へと時代が移り、老人クラブの隆盛期を支えてき

た役員、会員の高齢化が進む一方で、若年高齢者層の老人クラブ離れが広がり、近年は会員数も減少の一途をたどっています。

こうした中、県内においても、集いの場づくりのサロン活動、健康づくり・介護予防活動、相互支援活動を発展させた新地域支援事業など、新たな息吹を感じさせる活動に取り組むクラブが着実に増えつつあります。

「令和」という新たな時代を迎え、3人に1人、2人に1人が高齢者という地域を自分たちの力で支えていく「老人クラブ」を、もう一度大きく花咲かせ、次世代に継承していかなければなりません。

ここに集う広島県の老人クラブ代表は、「のぼそう！健康寿命 担おう！地域づくりを」をメインテーマに掲げて、共に手を携え、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一、高齢者の暮らしを支える「新地域支援事業」への参画
- 一、健康寿命をのぼす「健康づくり活動」の推進
- 一、仲間どうしで支え合う「友愛活動」の充実
- 一、高齢消費者被害防止に向けた活動の実践
- 一、クラブの解散防止と会員増強に向けた取り組みの推進

令和元年10月10日

令和元年度広島県老人クラブ大会

2 広報誌「ひろしま県老連」の発行

老人クラブ活動や高齢者福祉の増進についての広報啓発活動を行うため、より読みやすく、より親しみやすくするため、第91号から広報誌「ひろしま県老連」の紙面を一新した。

発行後より早く老人クラブ会員全員に配布するとともに、市町老人クラブ連合会・全国老人クラブ連合会、県市町等の関係機関、希望のあった一般高齢者に配布した。

発行時期 第97号（令和元年9月）及び第98号（令和2年3月）

発行部数 9万部

3 関係機関・関係団体との連携・協働事業の推進

全ての市町にネットワークを有する県内唯一の高齢者組織として、県関係局及び関係団体が実施する福祉、保健、健康、医療、交通安全、社会参加など高齢者に関わる事業と連携・協働を図った。

(1) プラチナ世代支援協議会事業の推進

広島県が主催する「プラチナ世代支援協議会」に構成団体として参画し、協議会事業の実施に協力した。

(2) 高齢者の交通安全対策の推進

広島県交通対策協議会の構成団体として、高齢者の交通事故防止対策を重点的に推

進するため、交通安全の啓発広報活動に取り組んだ。

・春の全国交通安全運動	実施期間 : 5月11日～5月20日
・自転車マナーアップ強化月間	実施期間 : 5月1日～5月31日
・広島県夏の交通安全運動	実施期間 : 7月11日～7月20日
・秋の全国交通安全運動	実施期間 : 9月21日～9月30日
・年末交通事故防止県民総ぐるみ運動	実施期間 : 12月1日～12月10日

○広島県交通対策協議会会議等の開催状況

月日	会議名	場所
31.5.8.	自転車安全利用街頭キャンペーン	広電薬々園ショッピングセンター
1.5.10	春の全国交通安全運動開始式	県庁正面
5.30	広島県交通対策協議会交通安全対策部会幹事会	県庁
6.14	広島県交通安全協会理事会・評議員会	リーガ広島
7.11	広島県夏の交通安全運動開始式	県庁正面
9.12	令和元年広島県交通安全県民大会	アステールプラザ
9.20	秋の全国交通安全運動開始式	県庁
9.24	高齢者交通事故防止対策会議	広島市中区役所
10.9	広島県交通対策協議会交通安全対策部会幹事会	県庁
10.12	第16回高齢者交通安全自転車大会	広島県立産業会館
11.29	年末交通事故防止県民総ぐるみ運動開始式	県庁正面
2.2.4	広島県交通対策協議会交通安全対策部会幹事会	県庁
3.5	広島県自転車安全教育推進委員会	運転免許センター

(3) 高齢者や子どもの犯罪被害防止への取り組み

広島県・広島県警察本部が主唱する「減らそう犯罪広島県民総ぐるみ運動」の取り組みに参画し、推進会議への参加や啓発資料の市町老連への提供、ホームページへの掲載等に取り組んだ。

また、川口鈴江副理事長が「広島県『減らそう犯罪』推進会議」委員に就任して、高齢者の犯罪被害防止について意見を述べている。

(3) 高齢者に関わる制度・政策への対応

公益財団法人として、また高齢者代表としての立場から、県関係局及び関係団体が主宰する福祉、保健、健康、医療、交通安全、社会参画に係る審議会、協議会等に参画など、高齢者に関わる事業と連携・協働活動に取り組んだ。

○高齢者に関わる制度・政策への対応

団体名	名称	区分
中国地方整備局	広島県バリアフリー等連絡会議	構成員
広島県健康福祉局	広島県後期高齢者医療審査会	委員

団 体 名	名 称	区 分
	広島県介護保険審査会	委 員
	広島県自殺対策連絡協議会	委 員
	広島県社会福祉審議会	委 員
	高齢者対策総合推進会議	委 員
	広島県プラチナ世代支援協議会	監 事
	ひろしま健康づくり県民運動推進会議	構成員
	広島県医療費適正化計画検討委員会	委 員
	広島県福祉のまちづくり推進協議会	構成員
	広島県地域福祉支援計画策定委員会	委 員
	広島県国民健康保険運営協議会	委 員
広島県環境県民局	広島県交通対策協議会	委 員
	広島県交通対策協議会幹事会	幹 事
	北方領土返還要求運動広島県民会議	構成員
広島県警察本部生活安全部	広島県暴走族・少年非行防止対策会議	委 員
	広島県暴走族・少年非行防止対策会議幹事会	幹 事
	広島県「減らそう犯罪」推進会議	委 員
	広島県「減らそう犯罪」推進会議幹事会	構成員
広島県後期高齢者医療広域連合	広島県後期高齢者医療広域連合運営審議会	委 員
(財) 広島県地域保健医療推進機構	財団法人広島県地域保健医療推進機構理事会	理 事
	財団法人広島県地域保健医療推進機構評議員会	評議員
	明るい長寿社会づくり推進委員会	委 員
(社福) 広島県社会福祉協議会	広島県被災者生活サポートボラネット推進会議	委 員
	社会福祉法に基づく運営適正化委員会の選考委員会	委 員
広島県選挙管理委員会	広島県明るい選挙推進協議会	構成員
(一財) 広島県交通安全協会	(公財) 広島県交通安全協会理事会	理 事
	広島県自転車安全教育推進委員会	委 員
その他	21世紀、県民の健康とくらしを考える会	構成員

○会議等への参加・出席状況（交通安全関係及び全老連関係を除く。）

月日	会議名等	場所
31. 4. 4	21世紀県民の健康とくらしを考える会役員会	県医師会館
1. 5. 25	広島県シニア総合スポーツ大会総合開会式	東広島運動公園
5. 29	全国都市緑化フェア実行委員会	広島国際会議場
5. 29	広島県社会福祉協議会理事会	県社会福祉会館
5. 30	広島県明るい選挙推進協議会総会	広島市中区
6. 9	大竹市シニア連合会健康づくり大会	大竹市
6. 10	北方領土返還要求運動広島県民会議総会	広島国際ホテル

6.12	広島県地域福祉支援計画策定委員会	県庁
7.16	広島県介護労働懇談会	県立体育館
7.23	移動等円滑化評価会議中国分科会	県民文化C
7.31	ひろしま健康づくり県民運動会議担当者会議	健康福祉C
7.26	広島県医療費適正化計画検討委員会	県庁
7.30	広島県自殺対策連絡協議会	県庁
8.1	北方領土返還要求運動広島県民大会	県民文化C
8.7	広島県地域福祉支援計画策定委員会	県庁
9.10	広島県社会福祉協議会社会福祉制度・予算対策委員会	県社会福祉会館
9.27	広島県社会福祉協議会理事会	県社会福祉会館
10.12	熊野町老人クラブ連合会創立50周年記念式典	くまのみらい交流館
11.9	ねんりんピック紀の国わかやま大会開会式	和歌山県
11.14	広島県「減らそう犯罪」推進会議幹事会	県警本部
11.21	広島県「減らそう犯罪」推進会議	県警本部
11.29	広島県地域福祉支援計画策定委員会	県庁
2.1.18	21世紀県民の健康とくらしを考える県民フォーラム	広島県医師会館
1.20	広島県暴走族・少年非行防止対策会議	県警本部
1.23	広島県高齢者対策総合推進会議	県庁
3.12	広島県地域福祉支援計画策定委員会<中止>	県庁
3.16	広島県社会福祉協議会理事会	県社会福祉会館
3.19	広島県医療費適正化計画検討委員会	県庁
3.24	広島県社会福祉審議会<中止>	県庁
3.27	ひろしま健康づくり県民運動推進会議総会<中止>	健康福祉C
3.27	広島県自殺対策連絡協議会<中止>	県庁

※3月の会議<中止>は新型コロナウイルス感染防止対策のため。

(5) 高齢者の社会参加活動促進事業の後援

関係機関・団体の開催する高齢者の社会参加活動等を促進する事業について、次のとおり後援名義の使用を許可した。

開催月 日	事業名等	主催団体
1.5.25	第30回広島県シニア総合スポーツ大会	広島県ほか
6.8	第38回家族の会大会・認知症を考える講演会	認知症の人と家族の会
10.12	第15回高齢者交通安全自転車大会	広島県交通安全協会
10.31	第47回尾道市高齢者福祉大会	尾道市老連
11.24	第30回広島県シニア囲碁大会	広島県社会福祉協議会
12.1	第30回広島県シニア将棋大会	広島県社会福祉協議会

IV 生活を豊かにする楽しい活動と地域を豊かにする社会活動を推進し、地域と福祉をささえる老人クラブをめざす事業（公4）

1 市町老連との協働活動の推進

老人クラブが地域でパワーを発揮するためには、単位クラブ及び市町老連並びに県老連が組織全体で協働活動を推進していく必要がある。このため「市町老連会長会議」及び「市町老連事務局長会議」を開催した。

年月日	会議の名称	人数	内容
31.4.12	市町老連事務局長会議（第1回）	21	1 2019年度県老連事業計画について 2 2019年度全老連事業について 3 意見交換 4 「これから手帳」について
元.12.12	市町老連会長会議	22	1 令和元年度県老連事業実施状況（中間報告）について 2 令和2年度県老連事業について 3 令和2年度全老連事業について 4 各市町老連の状況について 5 その他
2.2.18	市町老連事務局長会議（第2回）	24	1 令和2年度県老連事業について 2 令和2年度全老連事業について 3 その他

（開催場所：市町老連会長会議はメルパルク広島、他は広島県社会福祉会館）

2 県老連各種委員会及び研修会の開催

老人クラブ活動推進のため、女性委員会、若手委員会、活動活性化推進委員会及び、役員・リーダーの資質向上を図るための研修会を次のとおり開催した。

年月日	委員会等の名称	人数	内 容
元.5.21	若手委員会総会	23	1 平成30年度県老連若手委員会関係事業報告について 2 令和元年度県老連事業計画について 3 若手委員会役員改選について 4 規約改正について 5 グループ討議

5.31	女性委員会総会	20	1 平成 30 年度県老連女性委員会関係事業報告について 2 令和元年度県老連事業計画について 3 役員改選 4 高齢者詐欺被害防止について 4 グループ討議
6.7	広報誌編集委員会	6	広報誌「ひろしま県老連第 97 号」の編集について
7.18	女性委員会詐欺被害防止寸劇練習会	10	1 広島県老人クラブ大会における発表について 2 配役について 3 寸劇練習（台本読み合わせ）
7.30	若手リーダー研修会	27	1 老人クラブの現状課題 2 若手委員会役員の選任 3 市町老連若手委員会活動事例発表 4 グループ討議
8.20	広報誌編集委員会	5	広報誌「ひろしま県老連第 97 号」の掲載記事、投稿作品について
9.24	女性委員会詐欺被害防止寸劇練習会	7	寸劇練習（リハーサル）
10.1	女性委員会詐欺被害防止寸劇ビデオ撮影	11	寸劇ビデオ撮影
11.13	広報誌編集委員会	4	広報誌「ひろしま県老連第 98 号」の編集について
12.5	老人クラブ活動活性化推進委員会（第 1 回）	12	1 委員会役員（委員長、副委員長）選任 2 報告「全老連 100 万人会員増強運動の総括」 3 市町老連の会員増強運動の取り組み 4 意見交換（今後の進め方等について） 5 次期委員会日程調整
2.2.6	広報誌編集委員会	5	広報誌「ひろしま県老連第 98 号」の掲載記事、投稿作品について
2.13	老人クラブ活動活性化推進委員会（第 2 回）	13	1 会員増強運動の推進方策 2 市町老連の会員増強運動の取り組み 3 市町老連・地区老連・単老の強化 4 活性化推進研修会の開催

（開催場所：女性委員会寸劇ビデオ撮影を除き広島県社会福祉会館）

3 全老連が主催する会議・研修会等への参加

老人クラブ活動の充実強化を図るため、全老連主催の会議・研修・セミナー等に積極的に参加した。

令和元年度において、全老連の会議・研修体系が見直され、従来の都道府県・指定都市老連会長会議、同女性代表者会議及び同事務局長会議（年2回のうち1回）が統合され、「都道府県・指定都市老連代表者会議」とされた。

研修会についても、老人クラブリーダー中央セミナーは、同ブロック研修会に一本化、女性リーダーセミナー、健康づくり中央セミナー及び在宅福祉を支える友愛活動セミナーが統合され、「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」とされた。

さらに、活動推進担当者研究セミナーに、新任事務局長・職員研修会が統合された。

また、高知県高知市で開催された中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会においては、事例発表第3部「健康づくり・介護予防活動の推進」において、竹原市「荘野クラブ」の仁賀谷 祐会長から、「多彩な活動とクラブの若返り」と題して活動状況の発表が行われた。

開催日	会議名・研修名	場所
31. 4. 25	中国ブロック県・指定都市老連連絡協議会（4名参加）	岡山市
1. 6. 18	全老連評議員会（理事長出席）	東京都
7. 4～5	中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会（48名参加）	高知県
7. 31	第1回都道府県・指定都市老連事務局長会議（事務局長出席）	東京都
8. 21	第44回活動推進担当者研究セミナー（活動推進員参加）	東京都
11. 26～27	第48回全国老人クラブ大会（14名参加）	埼玉県
12. 12-13	令和元年度高齢者の健康づくり・生活支援セミナー（2名参加）	東京都
2. 1. 29-30	都道府県・指定都市老連代表者会議（事務局長出席）	東京都
3. 11	全老連評議員会<中止>	東京都

※3月の会議<中止>は新型コロナウイルス感染防止対策のため。

4 全老連会長表彰の受賞

全国老人クラブ連合会では、都道府県・指定都市老連からの推薦に基づき、多年にわたる老人クラブの育成功労者、顕著な活動実績を上げている優良老人クラブ及び優良老人クラブ連合会等の表彰を実施している。市町老連からの推薦により、令和元年度は次の個人・団体が受賞した。

- ・育成功労者 : 住田鉄也（庄原市）、吉田 隆（府中町）
- ・優良老人クラブ連合会 : 三原市老連（三原市）、荘野クラブ（竹原市）

5 全老連「活動賞」の受賞

全国老人クラブ連合会では、都道府県・指定都市老連からの推薦に基づき、優良事例を掘り起こすとともに活動の意欲を高め、老人クラブ活動の一層の発展を目指し、「活動

賞」表彰を実施している。市町老連からの推薦を受けて県老連から推薦して、令和元年度は次の団体が受賞した。

- ・三郎丸福寿会（府中市）

6 広島県知事表彰の受賞

10月24日の令和元年度広島県社会福祉大会において、老人保健福祉功労者等として、市町老連及び県老連を通じて推薦した次の個人及び団体が受賞した。

- ・老人クラブ育成指導功労者 鈴木孝雄（呉市）
- ・優良老人クラブ 光谷クラブ（三原市）

7 ニッセイ財団生き生きシニア活動顕彰の受賞

高齢者が主体となった地域貢献活動を顕彰する、(公財)日本生命財団の「2019年度生き生きシニア活動顕彰」に、市町老連からの推薦を受け、県を通じて推薦した次の団体が受賞した。

- ・永慶寺万年青会地区連合会（廿日市市）
- ・塩屋万年青会地区連合会（廿日市市）
- ・深江万年青会地区連合会（廿日市市）
- ・郷地万年青会地区連合会（廿日市市）

8 ホームページ活用による啓発広報

ホームページを活用して、老人クラブの活動状況や県や市町老連広報紙さらには関係団体の啓発資料等を掲載するとともに、公益財団法人として必要な法人関係情報について開示するなど、積極的な情報発信に努めた。

9 老人クラブの花を咲かそう運動の展開

老人クラブの意義を改めて見直しつつ、会員の活動意欲を喚起し、クラブの活性化を図ることを目的として、県老連創立60周年に向けて、老人クラブの愛称を花の名前にする「老人クラブの花を咲かそう運動」について、各種会議等を通じて、市町老連に取り組みの推進を依頼した。成果については、令和2年度以降に取りまとめていくこととしている。

また、今年度予定していた県老連自身の愛称募集については、手段等を模索する中で取り組めなかった。

10 特殊詐欺被害防止啓発ビデオの作成

女性委員会において、特殊詐欺被害防止啓発ビデオの作成に取り組み、委員の企画・制作・出演により「架空請求、広子さん危機一髪!」、「オレオレ詐欺、島さんギリギリセーフ!」の2編を作成し、広島県老人クラブ大会において発表上映すると共に、DVDを作成し、各市町老連へ配布して、研修会等での活用を図った。

《その他の事業》

V 老人クラブの組織強化を図る事業（他1）

1 老人クラブ普及事業

(1) 老人クラブ「100万人会員増強運動」事業

平成27年度から全老連は令和元年度を目標に5か年間で100万人会員増強の運動を開始した。これに呼応して、本県においても、5年間で18,699人増強を図る計画を策定し、市町老連にも県計画を基に、それぞれの目標設定を呼びかけた。

その結果、10市4町老連において、5年間で9,747人の増強を図る計画が策定された。また、計画未策定の市町老連においても、県老連設定の目標に基づいて会員増強運動に取り組みされており、全県的な取り組み結果については、各次年度当初に取りまとめて全老連へ報告する。

(2) 老人クラブ数等の状況

令和元年度（平成31年3月31日現在）の老人クラブ数は前年比で67クラブ、会員数5,149人減少した。減少率は若干減じたが、依然として減少傾向が続いており、老人クラブの解散防止が喫緊の課題となっている。

年度	クラブ数	会員数（人）	加入率（%）
20	2,467	146,249	27.3
21	2,415	142,309	25.0
22	2,347	136,247	23.4
23	2,277	131,325	22.1
24	2,214	127,043	21.0
25	2,161	121,544	20.0
26	2,106	114,971	18.8
27	2,069	110,592	18.1
28	1,998	105,334	17.1
29	1,955	100,875	16.4
30	1,891	95,545	15.8
元	1,824	90,396	14.9

（注）加入率：老人クラブ会員数／60歳以上の人口

(3) 活動資料、研修教材の普及事業

老人クラブ活動を効果的に推進するため、月刊「全老連」、「老人クラブリーダー必携」、「老人クラブ活動日誌」、「老人クラブ会計簿」、「老人クラブ手帳」等の普及を図った。

2 100万人会員増強運動推進特別報奨金事業の実施

「100万人会員増強運動」の一層の推進を図るため、運動最終年となる平成30年度において会員増加の実績をあげた単位老人クラブ及び新設・復活クラブに特別報奨金を贈

呈した。

- | | | | |
|--------------------|-----------|---------|--------|
| (1) 会員増加クラブ (5人以上) | @5,000 円 | 13 市町老連 | 90 クラブ |
| (2) 新設・復活クラブ | @20,000 円 | 5 市町老連 | 6 クラブ |

3 会員の安全対策と連帯意識の高揚を図る事業

(1) 「老人クラブ傷害保険」等の組織的普及

活動中や会員の日常生活の事故に備えた「老人クラブ傷害保険」及び「老人クラブ賠償保険」の組織的な普及と安全対策を図った。

なお、平成 30 年度の加入者数は次のとおりとなった。

- ・ 傷害保険 21 市町老連 195 クラブ 6,941 人
- ・ 賠償責任保険 7 市町老連 13 クラブ 623 人

(2) 全国の会員をつなぐ仲間のシンボル「老人クラブ会員章」の普及

会員の連帯意識を高め、仲間のしるしである会員章の普及を通じて活動強化を図った。また、併せて令和 4 年に全老連が創立 60 周年を迎えることを記念して作成された記念会員章の普及に取り組んだ。

4 表彰事業

多年にわたり老人クラブの育成指導に貢献し、老人福祉の増進に寄与した人に対して、広島県老人クラブ大会の場において、理事長表彰等を行った。(再掲)

- ・ 県老連理事長表彰、感謝状の贈呈

5 県老連専用スマートフォンの活用

市町老連の事務局強化や I C T 環境の整備を図るため、自前のインターネット環境を持たない 12 市 5 町老連の事務局等に県老連専用スマートフォンを貸与している。

これによって、全ての市町老連において、電子メールの活用、県老連とのファイル共有、ホームページの閲覧等が可能となっている。

《法人の管理運営》

VI 法人の管理運営（法人会計）

1 役員会等の開催

会務の適切な運営と推進を図るため、次のとおり役員会等を開催した。

月日	会 議 名	人数	主 な 内 容
元. 5. 10	監事会	3	1 平成 29 年度収支決算の修正について 2 平成 30 年度事業実施状況並びに収支決算について
5. 14	第 1 回運営委員会	8	1 平成 29 年度収支決算の修正について 2 平成 30 年度事業報告について 3 平成 30 年度収支決算について 4 役員の選任及び評議員の補充選任について 5 理事会及び定時評議員会の開催について
5. 29	第 21 回理事会	17	1 平成 29 年度収支決算の修正について 2 平成 30 年度事業報告について 3 平成 30 年度収支決算について 4 令和元年度事業計画及び収支予算書の修正について 5 若手委員会設置規程の改正について 6 役員の選任及び評議員の補充選任について 7 令和元年度定時評議員会の議題等について
6. 14	令和元年度定時評議員会	21	1 平成 29 年度収支決算の修正について 2 平成 30 年度事業報告について 3 平成 30 年度収支決算について 4 役員の選任及び評議員の補充選任について 5 令和元年度事業計画及び収支予算書の修正について
6. 21	第 22 回理事会	17	1 理事長、副理事長及び常務理事の選任について 2 基本財産の取り崩しについて 3 公益目的事業の内容変更について
2. 2. 28	第 2 回運営委員会	11	1 令和元年度収支予算執行見込みについて 2 令和 2 年度事業計画及び収支予算について 3 令和 2 年度行事計画について 4 第 23 回理事会の開催について
3. 14	第 23 回理事会 (決議省略)	-	1 令和 2 年度事業計画について 2 令和 2 年度収支予算について ※新型コロナウイルス感染防止対策のため、開催を中止し書面による「みなし決議」とした。

(開催場所： 広島県社会福祉会館)

2 役員の変更

理事の及び監事の任期満了に伴う役員の変更を行い、理事 18 名中 7 名が新任、監事 2 名中 2 名が新任となった。また、市町老連役員の変動に伴う補充選任により、評議員 2

2名中9名が新任となった。

3 老人クラブ等活動推進員の設置

「老人クラブ等活動推進員設置事業運営要綱」に基づき、県老連事務局職員2名を「老人クラブ等活動推進員」として任用し、高齢者の社会参加に係る企画立案、調査研究、市町村老人クラブの育成等の事業を実施した。

4 要望活動

県の厳しい財政状況が予想されるなかで、総合的な予算確保・社会福祉制度の要求をしていく必要がある。このため、社会福祉関係18団体において、令和2年度の予算編成に向けた重点要望を取りまとめ、広島県議会（要望日：10月10日）、県健康福祉局長及び関係部課長に要望した。（要望日：10月2日）

5 資料作成配布

月日	名 称	部数	備 考
元. 8. 30	令和元年度高齢者相互支援事業研修会資料 付平成30年度高齢者相互支援事業事例集	400	A4、57 頁
10. 31	第38回広島県老人クラブゲートボール大会資料	300	A4、13 頁